



TOHO IR Report

「TOHO VISION 2021」の初年度、 「営業利益目標400億円超」を達成

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに株主通信をお届けし、第130期における当社グループの事業状況ならびに
今後の取り組みなどについてご報告いたします。



代表取締役社長

島谷能成

第130期を振り返って

今期は昨年4月に策定した「TOHO VISION 2021 東宝グループ 中期経営戦略」の1年目に当たります。今回の中期経営戦略では『「巡航高度」400億円超を確たるものとしながら、ブレイクスルー戦略の開花等により、過去最高益(502億円)の更新に挑戦する』という、前回より一段高い数値目標を設定いたしました。その初年度となる今期は、主軸の「映画・演劇・不動産」の3事業ともに好調に推移し、下記の通り「営業利益目標400億円超」をクリアし、上々のスタートを切ることができました。

主力の映画事業において、東宝(株)配給作品では、『劇場版コード・ブルー-ドクターヘリ緊急救命-』が興行収入93億円を超え、邦画作品No.1の成績となりました。また、『名探偵コナン ゼロの執行人(しっこうにん)』『映画ドラえもん のび太の宝島』がシリーズ最高記録を更新する大ヒットとなったほか、『マスカレード・ホテル』が興行収入45億円を、『劇場版ポケットモンスター みんなの物語』も興行収入30億円を

超えるヒットを記録しました。東宝東和(株)等配給の洋画作品も『ジュラシック・ワールド／炎の王国』が興行収入80億円を、『ミッション：インポッシブル／フォールアウト』は興行収入47億円を超えるヒットとなりました。東宝グループの配給作品以外でも、『ボヘミアン・ラプソディ』(20世紀フォックス)、『ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生』(ワーナー・ブラザース)等が大ヒットし、昨年3月に開業した「TOHOシネマズ 日比谷」をはじめとする全国のTOHOシネマズが高稼働いたしました。

演劇事業においては、帝国劇場での『Endless SHOCK』や新作『ナイツ・テイル 騎士物語-』が大盛況となり、シアタークリエにおいても『ジャージー・ボーイズ』や『レベッカ』等が好成績を収めました。

不動産事業においては、不動産賃貸事業での空室率が低く推移し順調だった他、道路事業を手掛けるスバル興業(株)が堅調な業績を収めました。

この結果、当社グループの第130期業績は、営業収入が2,462億7千4百万円(前年度比1.5%増)、営業利益449億

8千2百万円(同5.5%減)、経常利益465億6千8百万円(同4.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益301億9千7百万円(同10.0%減)と高い水準の業績を収めることができました。

第131期の見通しについて

「TOHO VISION 2021 東宝グループ 中期経営戦略」の2年目に当たる本年は、ブレイクスルー戦略として掲げる「GODZILLA」を軸としたキャラクタービジネスの強化と、「GLOBAL」すなわち、JAPAN IP(日本の企画)の海外展開の本格化を図る「G2戦略」の成果が、少しずつ実を結ぶ一年であると確信しております。東宝最大のIPである「ゴジラ」のハリウッド版第2弾『ゴジラ キング・オブ・モンスターズ』と、ポケモン初めの実写作品『名探偵ピカチュウ』の2本の洋画作品が控えており、日本のお客様のみならず、世界中のお客様の期待に応えられるような最高のエンタテインメントを提供してまいります。

映画事業においては、上記作品のほかに『君の名は。』の新海誠監督の3年ぶりとなる新作『天気の子』や、山崎貴監督

による戦艦大和をめぐるエンタテインメント大作『アルキメデスの大戦』等を提供いたします。全ての世代が楽しめる東宝配給作品に是非ご期待ください。洋画では『ペット2』や人気シリーズのスピノフ『ワイルド・スピード／スーパーコンボ』といった東宝東和(株)等配給作品をはじめ、『アラジン』『トイ・ストーリー4』(いずれもウォルト・ディズニー)をはじめ、稀にみる強力なラインナップが揃った話題作を提供し、皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。

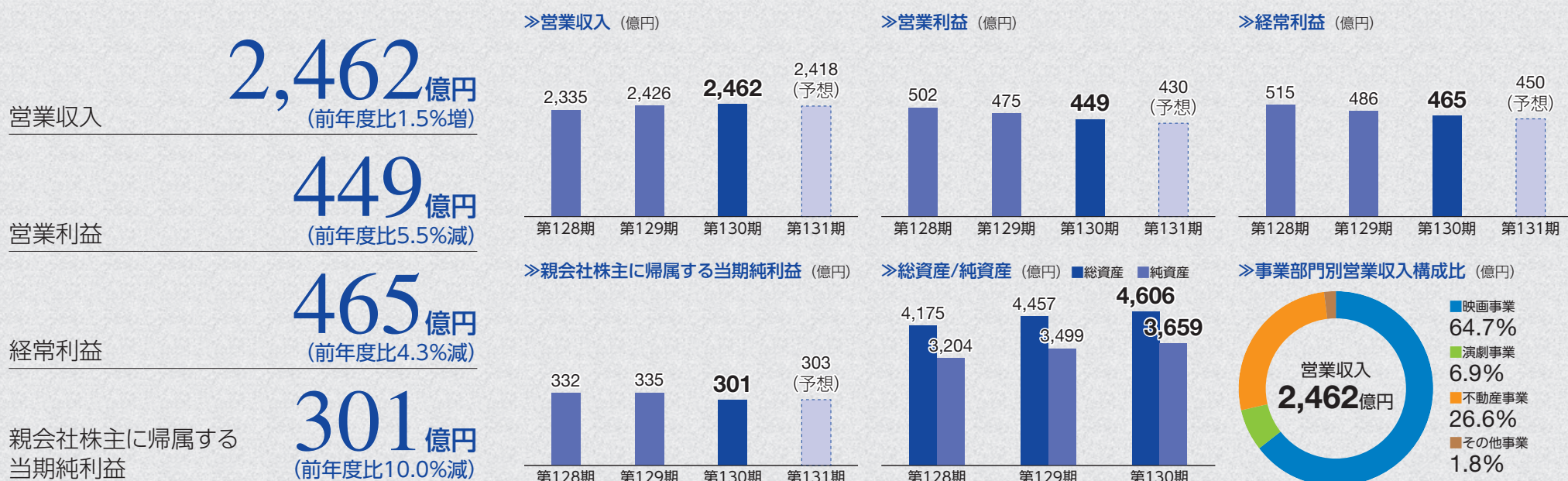
演劇事業では、帝国劇場を皮切りに全国5大都市ツアーを行う『レ・ミゼラブル』や、6月から3か月連続公演を控える『エリザベート』等の大作ミュージカルを上演いたします。シアタークリエ、日生劇場ほか全国巡回公演におきましてもバラエティ豊かな作品を提供してまいります。

なお、第131期の通期業績は、営業収入2,418億円、営業利益430億円、経常利益450億円、親会社株主に帰属する当期純利益303億円と予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。
アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>



Cinema Business 映画事業



『劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-』
©2018『劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-』製作委員会



『名探偵コナン ゼロの執行人 (しっこうにん)』
©2018 青山剛昌 / 名探偵コナン製作委員会



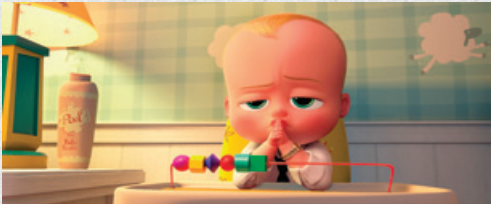
『映画ドラえもん のび太の宝島』
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2018



『ジュラシック・ワールド/炎の王国』
© Universal Pictures



『ミッション：インポッシブル/フォールアウト』
© 2018 Paramount Pictures. All rights reserved.



『ボス・ベイビー』
© 2017 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.

当期の取り組みと実績

- 映画営業事業では、『劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-』が興行収入93億円を超え、2018年度の邦画作品において最高の成績を収め、収益に大きく貢献しました。また『名探偵コナン ゼロの執行人 (しっこうにん)』も興行収入91億円を超えシリーズ最高記録を更新、『映画ドラえもん のび太の宝島』も興行収入53億円を超え、こちらも興行収入新記録となりました。東宝東和(株)等では、『ジュラシック・ワールド/炎の王国』が興行収入80億円を超え夏休み洋画作品No.1になったことに加え、『ミッション：インポッシブル/フォールアウト』が興行収入47億円、『ボス・ベイビー』が興行収入34億円を超えるというヒットに恵まれたほか、『グリーンチ』等、15本を配給しました。
- 映画興行事業では、当社グループ配給作品のほか『ボヘミアン・ラプソディ』(20世紀フォックス)のメガヒットや、『ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生』(ワーナー・ブラザーズ)、『万引き家族』(GAGA)、『カメラを止めるな!』(アスミック・エース)等が大ヒットを記録しました。
- 映像事業では、パッケージ事業において『舞台「刀剣乱舞」ジョ伝 三つら星刀語り』『ウマ娘 プリティーダービー』等の販売が堅調に推移しました。アニメ製作事業では、『僕のヒーローアカデミア』や『GODZILLA 決戦機動増殖都市』『GODZILLA 星を喰う者』等に製作出資をしました。また出版・商品事業では、『名探偵コナン ゼロの執行人 (しっこうにん)』『ボヘミアン・ラプソディ』等のパンフレットやキャラクターグッズが順調なセールスをあげました。ODS事業では、『ペンギン・ハイウェイ』や『映画刀剣乱舞』を提供しました。

当期中の提供映画作品 (映画営業事業) ※映像事業部配給作品を除く

- 映画ドラえもん のび太の宝島
- 坂道のアポロン
- ちはやぶる -結び-
- 映画クレヨンしんちゃん 爆盛!カンフーボーイズ〜拉麺大乱〜
- 名探偵コナン ゼロの執行人 (しっこうにん)
- いぬやしき
- となりの怪物くん
- ラプラスの魔女
- のみとり侍
- 恋は雨上がりのように
- OVER DRIVE
- 羊と鋼の森
- 劇場版ポケットモンスター みんなの物語
- 未来のミライ
- 劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-
- センセイ君主
- 僕のヒーローアカデミア THE MOVIE〜2人の英雄〜
- 検察側の罪人
- ちいさな英雄ーカニとタマゴと透明人間ー
- SUNNY 強い気持ち・強い愛
- 累 -かさね-
- 響 -HIBIKI-
- コーヒーが冷めないうちに
- 散り椿
- 億男
- スマホを落としただけなのに
- 来る
- 映画 妖怪ウォッチ FOREVER FRIENDS
- ニセコイ
- マスカレード・ホテル
- 七つの会議
- フォルトゥナの瞳

※当期中の劇場異動

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2018年 3月29日	TOHOシネマズ 日比谷	13(注)	東京都千代田区	TOHOシネマズ(株)	オープン

(注)「TOHOシネマズ スカラ座・みゆき座」2スクリーンを改装・名称変更して一体運営いたしております。

Movie Line-Up ムービーラインナップ



『天気の子』7月19日(金) 公開
©2019「天気の子」製作委員会



『ペット2』7月26日(金) 公開
© UNIVERSAL STUDIOS



『プロメア』5月24日(金) 公開
©TRIGGER・中島がすき×XFLAG

来期提供予定映画作品 (映画営業事業) ※映像事業部配給作品を除く

- 映画ドラえもん のび太の月面探査記
- 君は月夜に光り輝く
- PRINCE OF LEGEND
- 名探偵コナン 紺青の拳 (こんじょうのフィスト)
- 映画クレヨンしんちゃん 新婚旅行ハリケーン ～失われたひろし～
- キングダム
- 名探偵ピカチュウ
- コンフィデンスマンJP
- ゴジラ キング・オブ・モンスターズ
- きみと、波にのれたら
- ミュウツーの逆襲 EVOLUTION
- 天気の子
- アルキメデスの大戦
- ドラゴンクエスト ユア・ストーリー
- 劇場版 おっさんずラブ (仮)
- かぐや様は告らせたい ～天才たちの恋愛頭脳戦～
- 記憶にございません!
- HELLO WORLD
- 蜜蜂と遠雷
- 空の青さを知る人よ
- マチネの終わりに
- ユUri!!! on ICE 劇場版: ICE ADOLESCENCE (アイス アドレセンス)
- 屍人荘の殺人
- 映画 妖怪学園Y
- 猫はHEROになれるか (仮)
- 僕のヒーローアカデミア THE MOVIE (仮題)

※来期中の劇場異動予定

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2019年夏	TOHOシネマズ 熊本 (仮称)	9	熊本市中央区	TOHOシネマズ(株)	オープン
2019年10月	有楽町スバル座	△1	東京都千代田区	スバル興業(株)	閉館

2020年2月期の見通し

- 映画営業事業では、当社において上記の来期提供予定映画作品を配給する予定です。東宝東和(株)等においては『ペット2』『ワイルド・スピード/スーパーコンボ』『キャッツ (原題)』などの配給を予定しており、映画営業事業収入は472億円(前年度比5.9%増)の見込みです。
- 映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)等において当社配給作品に加え『アラジン』『トイ・ストーリー4』『ライオン・キング』(いずれもウォルト・ディズニー)等の大作・話題作を予定しており、映画興行事業収入は811億円(前年度比3.4%減)の見込みです。
- 映像事業では、パッケージ事業において『来る』『マスカレード・ホテル』『映画刀剣乱舞 継承-』等のバラエティに富んだ作品のソフト販売を行う予定です。ODS事業では、『プロメア』『海獣の子供』等の劇場アニメーションの配給を予定しております。アニメ製作事業では、『週刊少年ジャンプ』(集英社)で連載中の人気作品『Dr. STONE』のテレビアニメ放映の開始に加え、第2期となる『からかい上手の高木さん』等のテレビアニメに製作出資を引き続き行い、更なるファン層の拡大に努めてまいります。なお(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)等、連結子会社も含めた映像事業収入は282億円(前年度比8.1%減)の見込みです。
- 以上から、映画事業収入は1,565億円(前年度比1.7%減)の見込みです。

New Release ニューリリース

『来る』 こわいけど、面白いから、観てください。鮮烈・強烈・超絶・衝撃・ガクブル——あの中島哲也監督による最恐エンタテインメントが、Blu-ray&DVDで…“来る” 発売・販売元：東宝 © 2018『来る』製作委員会		『映画刀剣乱舞-継承-』 大人気ゲーム『刀剣乱舞-ONLINE-』初の実写映画。公開初日には関連ワードがTwitterを席巻し、ぴあ映画初日満足度ランキングも1位を獲得。興行収入は全国111スクリーン封切に対し8億円を記録した話題作。Blu-ray&DVDは6月19日(水)に発売。 発売元：マーベラス・東宝 販売元：東宝 ©2019『映画刀剣乱舞』製作委員会 ©2015-2019 DMM GAMES/Nitroplus		『Fairy gone フェアリーゴーン』 P.A.WORKS制作のオリジナルTVアニメ『Fairy gone フェアリーゴーン』が4月7日(日)より、TOKYO MXほかにて放送中。Blu-ray&DVDは7月17日(水)より順次発売。 ©2019 Five fairy scholars / フェアリーゴーン製作委員会	
--	--	--	--	--	--

Theatrical Business 演劇事業

当期の取り組みと実績

- 帝国劇場では、3月の堂本光一主演『Endless SHOCK』が全日程即日完売。4・5月『1789-バスティーユの恋人たち』、5・6月『モーツァルト!』の大ヒットに続き、7・8月は新作ミュージカル『ナイツ・テイル-騎士物語-』も圧倒的な人気で、満員御礼の興行となりました。9月『DREAM BOYS』、10・11月『マリー・アントワネット』、12・1月『ジャニーズ King&Prince アイランド』の各公演も人気を博し、大盛況となりました。
6月29日から7月24日にかけて、より良い観劇環境を提供するために、正面エントランス、客席をはじめとする付帯設備に大規模なリニューアルを行いました。
- シアタークリエでは、開場10周年イヤーとして6・7月『シークレット・ガーデン』、9・10月『ジャージー・ボーイズ』、10月『おもしろい女』、11・12月『ピアフ』、1・2月『レベッカ』等のバラエティに富んだラインナップを提供し、盛況となりました。
- 日生劇場では、鹿賀丈史・市村正親のコンビ誕生10周年となった『ラ・カーージュ・オ・フォール 籠の中の道化たち』(3月公演)等の公演が大入りとなったほか、『ジャニーズ 伝説2018』(10月公演)が全席完売となりました。
- この他、日本初演『メリー・ポピンズ』(3～5月公演 東急シアターオーブ、5・6月公演 梅田芸術劇場)、朝夏まなと・神田沙也加による『マイ・フェア・レディ』(9月公演 東急シアターオーブ)等の東宝製作公演を全国各地で展開いたしました。

2020年2月期の見通し

- 演劇事業では、Stage Line-Upに紹介している数々の話題作をはじめ、社外公演にて東宝演劇を積極的に全国展開してまいります。
- 以上から、演劇事業収入は165億円(前年度比3.0%減)の見込みです。



『Endless SHOCK』

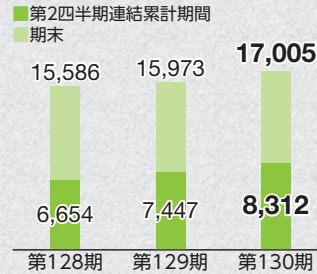


『ナイツ・テイル-騎士物語-』

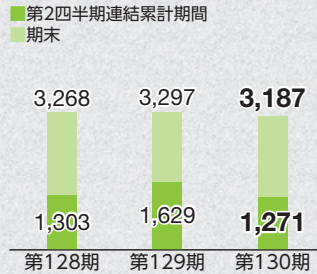


『レベッカ』

▶営業収入 (単位: 百万円)



▶営業利益 (単位: 百万円)



Stage Line-Up ステージラインナップ

2019年4月・5月
帝国劇場公演『レ・ミゼラブル』

全世界での観客総数も7,000万人を突破し、“世界の演劇史を代表する作品の一つ”であるミュージカルの金字塔『レ・ミゼラブル』。2019年、さらに新たなキャストを迎えて、帝国劇場公演を皮切りに5大都市ツアー公演を実施し、“劇場で体験する、あの感動と興奮”をお届けいたします。



2019年10月
帝国劇場公演
『ラ・マンチャの男』

世界的に読まれているスペインの国民的小説「ドン・キホーテ」を原作とした人気ミュージカル。日本では1969年の初演より松本白鸚が主演し、喜寿を迎える本年に同一作品の主演を50年も演じ続ける前人未至の偉業に挑みます。新たなキャストを迎えてお贈りする『ラ・マンチャの男』にご期待ください。



2019年6月～8月
帝国劇場公演『エリザベート』

ハプスブルク帝国最後の美貌の皇后エリザベートと黄泉の帝王“トート=死”の禁じられた愛を描いたミュージカル『エリザベート』。2000年の東宝版初演から2015年の大リニューアルを経て、新キャストを迎えて3か月連続上演が決定。日本のミュージカル史を塗り替える大ヒットミュージカルにご期待ください。



2019年9月 シアタークリエ公演

『Little Women -若草物語-』

2019年11月 帝国劇場公演

『ダンス オブ ヴアンパイア』

2020年1月 日生劇場公演

『フランケンシュタイン』

Real Estate Business 不動産事業

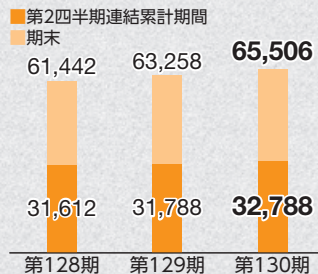
当期の取り組みと実績

- 全国に所有するビル諸設備等の改修・改善、賃料交渉をすすめるなど積極的な営業活動を推進し、空室率0.3%台で推移いたしました。
昨年3月にショッピングセンター「日比谷シャンテ」は開業以来最大規模のリニューアルを行いました。
- 東宝スタジオでは、『アルキメデスの大戦』等の当社配給作品を中心に、テレビドラマやCM撮影を含めステージレンタルが順調に稼働いたしました。
- 道路事業では、建設技能者不足や受注競争が激化する中、スバル興業(株)とその連結子会社が安全管理に重点を置き、事業の拡大を目指した積極的な営業活動により、既存工事の増工や追加受注を積み重ねました。

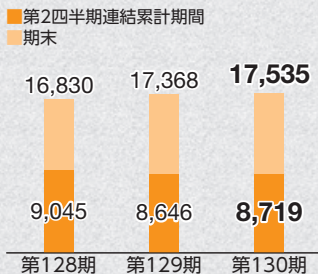
2020年2月期の見通し

- 不動産賃貸事業では、引き続き積極的な営業活動を行いつつ、長期的な視野に立った設備改修や再開発等を計画し、全国に所有する不動産の有効活用に努めてまいります。
3月22日に「リッチモンドホテル天神西通」(福岡市中央区)を開業いたしました。
- 東宝スタジオでは、当社配給の劇場映画作品のみならず、CMを含めステージレンタルやポスプロの誘致を積極的に行ってまいります。
- 道路事業ではスバル興業(株)とその連結子会社において、原価管理の徹底を基本とし、積極的な営業活動を行い、受注の拡大を図ってまいります。
- 不動産保守・管理事業では東宝ビル管理(株)と東宝ファシリティーズ(株)において厳しい低価格競争の中、コスト削減とともに新規受注拡大に取り組んでまいります。
- 以上から、不動産事業収入は650億円(前年度比0.8%減)の見込みです。

▶営業収入 (単位: 百万円)



▶営業利益 (単位: 百万円)



TM & © TOHO CO., LTD.

Other Business その他事業

当期の取り組みと実績&2020年2月期の見通し

- 娯楽事業及び飲食・物販事業の営業収入は45億3千2百万円(前年度比9.6%増)となりました。
- 来期は東宝共栄企業(株)の「東宝調布スポーツパーク」、(株)東宝エンタープライズの「東宝ダンスホール」、TOHOリテール(株)の飲食店舗・劇場売店等流通・小売りサービス等において積極的な営業施策を展開してまいります。
- その他事業収入は38億円(前年度比16.2%減)の見込みです。

Topics トピックス

柔道日本代表×ゴジラ=ゴジラジャパン!

今年3月19日、東宝を代表するキャラクター・ゴジラが「ゴジラジャパン」として柔道日本代表選手団の愛称に採用されることになりました。同日行われた会見では、東宝の大田圭二CGO(チーフ・ゴジラ・オフィサー)と全日本柔道連盟の井上康生全日本男子監督と増地克之全日本女子監督が協働プロモーションへの想いを語りました。

経緯としては、全日本柔道連盟科学研究部が日本代表選手団の映像分析システムを「ゴジラ」と呼んでいたことがわかり、東宝から、ゴジラが柔道日本代表選手団を応援、サポートしたいと提案しました。ゴジラと柔道には、「日本発祥」「伝統」「力強さ」など多くの共通点が挙げられます。これを機にゴジラファンの皆様にも日本柔道を応援いただけることを期待しております。

本年はゴジラ誕生65周年であり、5月31日(金)にはハリウッド版『ゴジラ キング・オブ・モンスターズ』の公開が控えている特別な年です。今後ともゴジラ、そして「ゴジラジャパン」の国際的な活躍にご声援のほどよろしくお願いいたします。



左から、チーフ・ゴジラ・オフィサー(CGO) 大田圭二、柔道全日本男子監督 井上康生、全日本女子監督 増地克之(敬称略)

Topics

トピックス

日比谷の街が生まれ変わりました

日比谷の新しいランドマーク“新・ゴジラ像”がお出迎え

「合歓の広場」の名で愛された本社前広場は、2018年3月、「日比谷ゴジラスクエア」にリニューアルされました。ニケ像のような力強い、象徴的なゴジラが晴海通りからいらっしゃるお客様をお出迎えしています。また、夜になると、漆黒の海から天空を見上げる姿をイメージしたライトアップもお楽しみいただけます。日比谷公園を背景に、以前よりも開放感のあるオープンな空間となりました。



フラッグシップ劇場

「TOHOシネマズ 日比谷」がオープン

惜しまれつつも85年の歴史に幕を閉じた「日劇」に代わり、2018年3月、「TOHOシネマズ 日比谷」が東宝グループの旗艦劇場として、東京ミッドタウン日比谷内にオープンしました。映画の宮殿「THE MOVIE PALACE」をコンセプトに、非日常的な極上の空間でのひとときをお届けします。



“日比谷ブロードウェイ”誕生

創業者である小林一三は「有楽町アミューズメントセンター」構想のもと、日比谷の地に東京宝塚劇場、日比谷映画劇場、有楽座などを次々とオープンし、エンタテインメントの街を創り上げました。その精神は脈々と受け継がれ、今日、映画ではTOHOシネマズ 日比谷とTOHOシネマズ シャンテ、演劇では東宝直営劇場の帝国劇場・シアタークリエをはじめ、東京宝塚劇場、日生劇場など、日比谷は日本を代表する映画・演劇の街となりました。これからも、わたしたちは上品で居心地が良く、エンタテインメントが身近に感じられるような街づくりを目指します。

Information

株主様向け情報

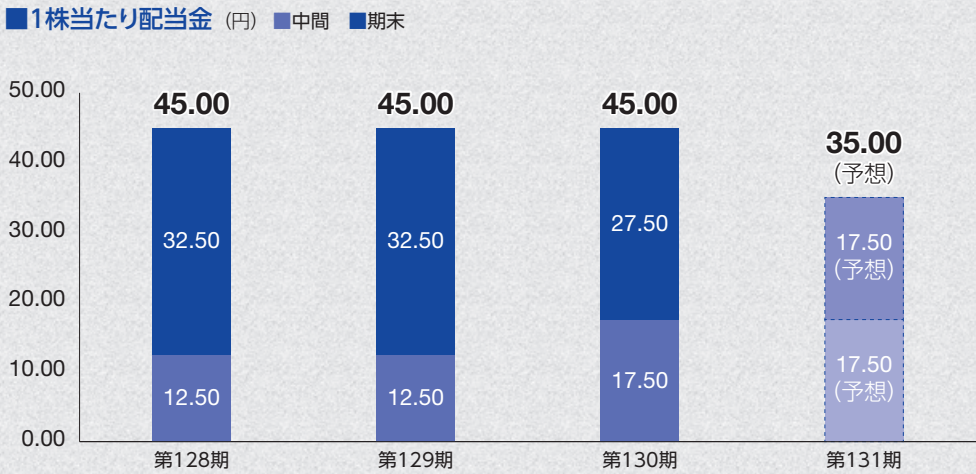
配当金について

当社では、「TOHO VISION 2021 東宝グループ 中期経営戦略」において、年間35円の配当をベースにしつつ、業績が予想や目標を上回って推移した場合は、業績連動分として追加の配当を積極的に検討することを資本政策の基本方針としております。

当期は、主力の映画事業において『劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-』『名探偵コナン ゼロの執行人（しっこうにん）』等の大ヒットが業績を牽引したことに加え、演劇事業、不動産事業も順調に推移し、中期経営戦略で掲げる営業利益目標を達成することができました。

こうした状況を踏まえ、当期の1株当たりの期末配当金は、当初17.5円を予想しておりましたが、特別配当10円を増額し、27.5円に修正することといたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は45円（前期実績45円）といたしました。

なお、来期（131期）の配当金につきましては、年間配当金35円（中間17.5円、期末17.5円）を予定しております。



Corporate Data

会社情報

＞会社概要

(2019年2月28日現在)

会社名	東宝株式会社
設立	1932年8月12日
資本金	10,355,847,788円
従業員数	389名。ただし、嘱託16名、出向受入者58名を含み、出向者147名を含みません。
本社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

＞株式の状況

(2019年2月28日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	188,990,633株 (自己株式 9,006,234株を含む)
株主数	23,343名 (前期末比1,251名減)

大株主【上位10名】		
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.67
阪急阪神不動産株式会社	15,150	8.41
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	13,664	7.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,537	5.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6,500	3.61
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.74
株式会社TBSテレビ	4,521	2.51
株式会社竹中工務店	3,785	2.10
株式会社丸井グループ	2,578	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	2,532	1.40

(注) 持株比率は、自己株式9,006,234株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	5月		東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料）
配当金受領株主確定日	期末配当金・・・・・・2月末日 中間配当金・・・・・・8月31日	郵便送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定める。	公告掲載URL	https://www.toho.co.jp/company/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		